

富里市における子ども・子育て支援 の取り組み状況について

平成25年11月15日

富里市健康福祉部子育て支援課

(案)

〔富里市次世代育成支援行動計画進捗状況調査報告書〕

この報告書は、次世代育成支援対策推進法〔平成15年法律第120号（第8条第6項）〕に基づき、「富里市次世代育成支援行動計画」の進捗状況の公表を目的に作成されたものです。

《 報告書の作成に当たって 》

この報告書は、「富里市次世代育成支援推進本部設置要綱」第4条の規定により設置される「富里市次世代育成支援行動計画研究班（各担当課等）」からの調査報告に基づき、本計画策定以降、平成24年度（平成25年3月）までの計画の進捗状況について、施策ごとに取りまとめたものです。

なお、平成25年度における取り組み及び本計画期間中（平成26年度まで）の事業実施予定等についても併せて調査を行い、本計画策定の基礎資料として活用することとしています。

富里市長 相川 堅治

※ 事務局 ・ ・ 健康福祉部 子育て支援課 保育班（0476-93-4497）

《 目 次 》

〔 計画の概要 〕・・・『 富里市次世代育成支援行動計画 』	・・・ P. 1
〔 基本理念 〕・・・『 子どもが健やかに生き生きと輝く富里 』	・・・ P. 1
〔 基本方針 〕・・・3つの視点（目標）・7つの取り組み分野	・・・ P. 2
○ 3つの視点（目標）・・・創造プロジェクト	
● 視点1 すべての子どもが幸せに育つ《ゆめの創造》	・・・ P. 2
● 視点2 地域に応援されて親も育つ《きぼうの創造》	・・・ P. 4
● 視点3 子育て・子育てを大切にする地域が育つ《よろこびの創造》	・・・ P. 5
○ 7つの取り組み分野（取り組み分野1～7・基本施策）	・・・ P. 8
取り組み分野ごとに掲げた個別施策については、別添資料を参照ください。	
〔 推進体制の整備 〕	・・・ P. 9
〔 計画の推進と評価 〕・・・目標事業量及び進捗状況	・・・ P. 10

〔 計画の概要 〕 ・ ・ ・ 『 富里市次世代育成支援行動計画 』

わが国では急速な少子化の進行による、将来の社会活力の低下や社会保障制度の維持の問題など、子どもあるいは社会全体に与える影響が懸念されています。

そのため、富里市では、『次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）』に基づき、『子どもが健やかに生き生きと輝く富里』を基本理念に、「富里市次世代育成支援行動計画（前期行動計画）」を策定し、平成17年度から21年度までの5年間にわたり、次代を担う子どもたちの育成を支援していくため、多くの支援施策に取り組んでまいりましたが、前期計画期間の終了に伴う評価、見直しを行った上で、平成22年度から平成26年度の後期5か年計画となる「富里市次世代育成支援行動計画（後期行動計画）」を策定し、引き続き、『まちづくり』の横断的な課題として取り組みを推進していきます。

〔 基本理念 〕 ・ ・ ・ 『 子どもが健やかに生き生きと輝く富里 』

～ 次世代につなげる “ ゆめ、きぼう、よろこび ” の創造 ～

子どもを『生み・育てる』ことは、社会を維持し次代を創造する上でとても重要であり、その意味において、非常に大切な社会的な営みということが言えます。

富里市では、子どもを持ちたいと思う誰もが、安心して子どもを生み、また、子育てを楽しみと感じ、そして何よりもすべての子どもが心豊かにたくましく成長できる環境づくりを一層強力に進めていきたいと考えています。

そのためには、行政はもとより、市民、地域団体、企業などの応援が不可欠であり、協力・連携して社会全体で次世代育成支援にともに取り組む必要があります。

『富里市次世代育成支援行動計画』では、「とみさと子どもプラン（平成13年12月策定）」で示した“子どもが健やかに生き生きと輝く富里”の理念を継承し、さらに取組を充実させていきます。

そして、子ども、家庭、地域のそれぞれの育ちを応援する次世代育成支援の新たな課題に対応させるため、“ゆめ、きぼう、よろこび”を創造し、着実に一歩ずつ実現させていきます。

〔基本方針〕・・・3つの視点（目標）・7つの取り組み分野

この計画の策定に向けて実施したアンケート調査や各種ヒアリング、また、学識経験者・地域活動団体・各種関係機関の役員など、並びにサービス利用者を含めて組織された策定委員会などの検討結果を踏まえ、富里市の次世代育成支援に取り組む【3つの視点（目標）】（創造プロジェクト）を掲げて展開しています。

また、この基本目標である3つの視点に基づき【7つの取り組み分野】を設け、それぞれに位置づけられた基本施策・取り組み内容の推進に努めています。

○ 3つの視点（目標）・・・創造プロジェクト

現状と課題に基づき、富里市における次世代育成支援を推進する“ゆめ、きぼう、よろこび”の創造プロジェクトを掲げ、各種事業を展開しています。

● 視点1 すべての子どもが幸せに育つ《ゆめの創造》

《目標》 すべての子どもと親子が気軽に集える安全な居場所があって、地域の様々な体験活動を通して子どもたちが主体的に活動できる場を確保します。

《分野1-4-(2)-①》・・・この計画の施策体系を示しています。計画書 P39 参照

I 子どもの居場所の確保

事業名	主な内容（進捗状況）
児童館活動の促進 《分野1-4-(2)-①》	(子育て支援課) 市の広報誌において、児童館の各種行事等について幅広く市民にお知らせしました。 「千葉県子育て支援交付金事業費補助金」を活用し、児童館の運営及び活動のより一層の充実に努めました。
スポーツ・レクリエーション推進体制の充実 《分野3-3-(1)-①》	(生涯学習課) 各小学校区で、地区青少年相談員、学校、PTAが連携して、体験活動やスポーツ・レクリエーションを実施しました。

<p>遊 び 場 の 確 保 《分野4-1-(2)-①》</p>	<p>(子育て支援課)</p> <p>子どもが安全に遊ぶことができるよう既存の公園及び児童遊園の遊具の点検・修繕を行いました。また、日常の公園及び児童遊園管理について、地元自治会等と協定を結び、きめ細やかな管理に取り組み、適正な管理が行われていると判断される自治会等に報奨金を交付しました。</p> <p>(都市整備課)</p> <p>安全で安心な子どもたちの身近な遊び場として利用できるよう、既存公園の遊具等の点検及び修繕を行い、地元自治会と協力し合い管理を行いました。また、「都市計画法に基づく開発行為に係る技術的細目の強化に関する条例」及び「富里市宅地開発指導要領」に基づき、公園の設置、設備内容について指導を行いました。</p>
--------------------------------------	--

Ⅱ 子どもが主体となって活躍する機会

事 業 名	主 な 内 容 (進捗状況)
<p>子どもの交流活動の充実 《分野1-4-(2)-③》</p>	<p>(生涯学習課)</p> <p>平成24年度は、各単位子ども会での活動のほか、富里市子ども会育成会連絡協議会事業として、子ども会まつりに131名、房総かるた大会に33名、実技講習会(スケート教室)に65名の参加がありました。</p> <p>また、青少年相談員連絡協議会による第35回親子へらぶなつり大会においては53名、第26回少年少女綱引き・ドッジボール大会には237名の参加がありました。これら各種の事業を通じて、広く子どもたちの交流が図れました。</p> <p>(子育て支援課)</p> <p>保育園では、卒園児と在園児の異年齢児交流事業や、中・高校生のボランティア受け入れを実施しました。</p>

● 視点2 地域に応援されて親も育つ《きぼうの創造》

《目標》 子どもの健やかな成長を推進するとともに、働くお母さんも安心して仕事と子育ての両立ができる保育環境を整えます。

I 子どもの健康の確保

事業名	主な内容（進捗状況）
母子健康相談の充実 《分野2-1-(1)-①》	（健康推進課） 保健センター（月1回）及び北部コミュニティセンター（奇数月）で定例の育児相談（母子健康相談）を実施しました。 【開催回数と利用人数】 保健センター（10回） 実103組 延232人 北部コミュニティセンター（6回） 実39組 延89人
小児生活習慣病予防、 生活改善指導の充実 《分野2-2-(1)-①》	（健康推進課） 乳幼児健診、育児相談の中で、小児生活習慣病の予防の観点から、生活リズム・食生活の指導・相談を実施しました。 【個別栄養指導数実績】 乳児健診：395人 1歳6ヶ月児検診：137人 3歳児検診：77人 育児相談：142人 （学校教育課） 中学校2年生を対象に「小児生活習慣病予防検査」を実施し、検査結果を基に保健学習や資料の提供を行いました。 また、印旛郡市学校保健会の研修担当市として、学校職員を対象に「小児の肥満について」の講演会を開催しました。
薬物乱用防止教育 の充実 《分野2-3-(1)-②》	（健康推進課） 保健所等との連携により、薬物乱用防止に関するリーフレットを配布しました。 【実績】 市の成人式において新成人に配布。 学校との連携により健康・性教育を実施しました。 【実績】 中学校1校と保健センターにおいて助産師による講演を実施しました。 （学校教育課） 薬物乱用防止リーフレット等の啓発教材を配布しました。 また、関連する事業について各学校へ周知しました。

II 仕事と子育ての両立ができる保育環境

事業名	主な内容（進捗状況）
保育所整備の推進 《分野1-2-(1)-①》	(子育て支援課) 保育ニーズの増大・多様化に対応し、地域性に配慮した保育所整備の推進を図りました。
休日保育の検討 《分野1-2-(1)-②》	(子育て支援課) 各保育所と協議・連携を図りました。
放課後児童クラブの充実 《分野1-2-(2)-①》	(子育て支援課) 平成25年4月に富里第一学童クラブ、浩養すいかキッズクラブを設置しました。

● 視点3 子育てを大切にできる地域が育つ《よろこびの創造》

《目標》 子育ての先輩や同年代の親との交流、地域の講座等を通じて、地域全体で富里の子どもの成長を暖かく見守っていきます。

I 子育てにやさしいまちづくりの推進

事業名	主な内容（進捗状況）
子育て支援センターの充実 《分野1-3-(1)-①》	(子育て支援課) 子育てに不安や悩みを持つ親の身近な相談窓口として、子育て支援センターを活用していただくための周知・運営に努めました。また、子育て家庭に対して、相談・情報提供や子育ての仲間づくり、関係機関との連絡調整など総合的な子育て支援を推進しました。 利用者数 (月平均) 821名 (年間) 9,853人 育児相談 131人 育児講座 163人 園庭開放、センター室開放 5,523人 センター室開放のみ 2,389人 移動支援センター 878人 サークル支援等 769人

<p>ファミリー・サポート ・センター事業の実施 《分野 1-3-(1)-⑥》 《分野 5-2-(1)-①》</p>	<p>(子育て支援課・産業経済課・社会福祉協議会)</p> <p>公益法人の委託方式として、社会福祉協議会と委託契約を締結し、4月より会員の募集、説明会の実施、アドバイザーや地域リーダー及び会員の研修を行い、10月から事業を開始しました。</p> <p>12月には会員同士の交流を深めるため、地域リーダーと協力してクリスマス会を実施しました。また、市民活動フェスタへの参加やファミサポ通信を発行するなど、情報提供に努めたり、月1回地域リーダー会議を開催し、情報交換をしながら、より良い活動の在り方について、検討しています。</p>
--	---

II 地域の連携・協力による支援

事業名	主な内容(進捗状況)
<p>子育てボランティアの 育成・活用 《分野 1-3-(1)-②》</p>	<p>(子育て支援課・社会福祉協議会)</p> <p>社会福祉協議会のボランティアセンターで、ボランティア登録した市民が、行事開催中の保育や地域での子育て支援の協力、学童クラブの保育や保育園送迎などの活動をしました。</p> <p>また、保育に関するボランティア活動のスキルアップと、その活動への参加を促すことを目的に「保育ボランティア講座」を開催し、絵本の選び方と読み聞かせの技法や手遊びを学びました。</p> <p>登録ボランティアにファミリーサポートセンター事業を紹介し、提供会員への登録の協力をしました。</p>
<p>学校・地域における 防犯体制の強化 《分野 6-2-(1)-③》</p>	<p>(学校教育課)</p> <p>市立幼稚園及び学校において防犯教室を実施し、不審者侵入時の対応、登下校時における不審者への対応等を訓練しました。</p> <p>(市民活動推進課)</p> <p>地域住民が主体となり、学校において防犯教室や防犯訓練を実施しました。 日吉台小学校 1回</p> <p>青色防犯パトロール専用車(2台)で、市職員・防犯指導員等防犯団体による防犯パトロールを実施しました。</p>

	<p>パトロール回数：３６１回（平成２５年１月末現在）</p> <p>地域防犯活動を活発化するために防犯指導員等防犯団体に協力支援しました。</p>
<p>要保護児童対策地域協議会の推進</p> <p>《分野 7-1-(1)-①》</p>	<p>（子育て支援課）</p> <p>児童虐待等の要保護児童に関する情報交換並びに関係機関との連携及び協力を行い、児童虐待等の早期発見及びその適切な保護に努めました。</p> <p>（健康推進課）</p> <p>ネットワーク機能を活用・推進し、児童虐待等の要保護児童に関する情報交換並びに関係機関の連携及び協力を推進し、児童虐待等の早期発見に努めるとともに母子保健事業をととした育児支援により、その防止に努めました。</p> <p>【協議実績】</p> <p>富里市要保護児童対策地域協議会実務者会議 年 7 回 個別支援会議 3 回 への出席</p> <p>こんにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診時にリーフレットの配布を行いました。配布数 1 4 8 0 枚</p> <p>（学校教育課）</p> <p>市、児童相談所、教育委員会でケース会議を毎月開催し、要保護児童の把握と情報交換を行い、関係機関が連携して児童虐待等の早期発見に努め、適切な対応を実施することで、問題の深刻化を防ぐことができました。</p>

○ 7つの取り組み分野

この計画は、基本視点に基づく7つの取り組み分野で構成されています。また、分野ごとに「基本施策 — 取り組み内容 — 個別施策」を位置づけ、計画の推進を図っています。

なお、個別施策の進捗状況については、行動計画の推進に取り組んでいる担当部門（各課等）からの報告〔別添：進捗状況調査票〕に基づき、富里市次世代育成支援行動計画研究班（研究班会議）が作成しました。

● 分野1 ・ ・ 地域全体で支える子育て支援

〔基本施策〕

- 1 地域における子育て支援サービスの充実
- 2 保育サービスの充実
- 3 子育てネットワークづくり
- 4 児童の健全育成

● 分野2 ・ ・ 母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進

〔基本施策〕

- 1 子どもや母親の健康の確保
- 2 「食育」の推進
- 3 思春期保健対策の充実
- 4 小児医療の充実

● 分野3 ・ ・ 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

〔基本施策〕

- 1 次代の親の育成
- 2 子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境の整備
- 3 家庭や地域の教育力の向上
- 4 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

● 分野4 ・ ・ 子育てを支援する生活環境の整備

〔基本施策〕

- 1 良質な住環境・遊び場の確保
- 2 安全な道路交通環境の整備
- 3 安心・安全なまちづくりの推進

● 分野5 ・ ・ 職業生活と家庭生活の両立支援

〔基本施策〕

- 1 仕事の生活の調和の実現のための働き方の見直し
- 2 仕事と子育ての両立のための基盤整備

● 分野6 ・ ・ 子どもの安全の確保

〔基本施策〕

- 1 子どもの交通安全を確保するための活動の推進
- 2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
- 3 被害にあった子どもの保護の推進

● 分野7 ・ ・ 要保護児童への対応などのきめ細かな取り組みの推進

〔基本施策〕

- 1 児童虐待防止対策の充実
- 2 きめ細かな支援が必要な取り組み

〔 推進体制の整備 〕

(1) 庁内推進体制の整備

次世代育成支援施策を総合的に推進するため、「富里市次世代育成支援推進本部」を中心に庁内各部門の連携体制を強化し、本計画の推進に取り組みます。

(2) 子ども・子育てをみんなで支える協働体制づくり

富里市の市民一人ひとりが積極的に子ども・子育て支援に関わり、地域社会全体で子どもの健やかな成長を暖かく支援する協働体制づくりに取り組みます。

(3) 計画の評価

年度ごとに計画の進捗状況を把握し、「富里市次世代育成支援推進本部」において、取り組みを評価していきます。

〔 計画の推進と評価 〕 ・ ・ ・ 目標事業量及び進捗状況

この計画では、子育て支援に対する需要等を踏まえ、平成26年度末までに取り組むべき主要な子育て支援事業について、目標事業量（数値目標）を設定しています。

計画の目標事業量と平成24年度の進捗状況は次表のとおりです。

平成24年度実績

事業名	単位	目標事業量	進捗状況	到達度
①通常保育事業 3歳児未満 3歳児以上	人	200	238	119%
	人	400	354	88.5%
	計(人)	600	592	98.6%
②特定保育事業	か所	1	0	0.0%
③延長保育事業（※1）	か所	4	4	100.0%
	人	24	38	158.3%
④休日保育事業	か所	1	0	0.0%
	人	0	—	—
⑤病児・病後児保育事業 病児・病後児対応型	か所	1	0	0.0%
	日数	0	—	—
⑥放課後児童健全育成事業（※2）	か所	6	3	50.0%
	人	170	101	59.4%
⑦地域子育て支援拠点事業	か所	1	1	100.0%
⑧一時預かり事業（※3）	か所	4	4	100.0%
	人	7,325	1,749	23.9%
⑨ファミリーサポートセンター事業	か所	1	1	100%

※1 延長保育事業の進捗状況の人数は、1日11時間を超える1日あたりの利用児童数を記載

※2 放課後児童健全育成事業の進捗状況の人数は、公設学童クラブのみの人数とし、民設学童クラブの人数は含まない数値

※3 一時預かり事業の進捗状況の人数は、年間あたりの延べ人数を記載

※ その他の特定事業については、計画目標数値が0であるため記載を省略